

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

瑞浪市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県瑞浪市

3 地域再生計画の区域

岐阜県瑞浪市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は少子高齢化の進展が著しく、1995年を境に65歳以上人口（老年人口）が0～14歳人口（年少人口）を上回り、同時に15～64歳人口（生産年齢人口）は減少に転じている。総人口としては2000年の42,298人をピークに年々減少傾向となり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年には3万人を下回ると予想されている。

このような人口減少の要因としては、出生数の減少と死亡者数の増加による自然減と、15歳から34歳までの年齢層の進学や就職、結婚等を理由とする大幅な転出超過による社会減が大きな要因である。この状態が続くと、行政サービス水準の低下や地域コミュニティ機能の低下等の課題が生じる。

本市にとって人口減少問題は、喫緊の課題であることは間違いないことから、本市の最上位計画である第6次瑞浪市総合計画の「まちづくりの重点方針『3プラス1』」に基づき、以下の4つの基本目標のもと、安心して子育てができる環境、高齢者がいきいきと生活できる環境を整え、快適な生活ができる社会を実現することで、市民一人ひとりが瑞浪市民であることに誇りを持ち、幸せな暮らしを実感できるまちを目指していく。

・基本目標1 魅力的な暮らしを創造する ～だれもが魅力を感じ、暮らしていただくきっかけづくりのために～

・基本目標2 快適な暮らしを実感する ～だれもが快適に暮らし、安心して子ども

もを育てていくために～

- ・基本目標 3 元気な暮らしを応援する ～高齢になっても、元気に暮らし続けられるために～

- ・基本目標 4 協働の夢づくり ～地域のつながりで、夢のあるまちづくり～

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2023年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	瑞浪市は住みよいところだと感じる市民の割合	68.1%	77.0%	基本目標 1
	子どもを産み育てやすいまちだと思ふ市民の割合	66.7%	70.0%	
	働きやすいまちだと思ふ市民の割合	40.1%	45.0%	
イ	誇りの持てる、魅力あるまちなみだと思ふ市民の割合	43.7%	50.0%	基本目標 2
	学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えているまちだと思ふ市民の割合	71.4%	72.0%	
	防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思ふ市民の割合	55.7%	60.0%	
	犯罪や事故対策がしっかりとなされていて、安全で安心なまちだと思ふ市民の割合	61.6%	67.0%	
ウ	高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと思ふ市民の割合	63.3%	70.0%	基本目標 3

	利用しやすい公共交通が整っているまちだと思う市民の割合	33.3%	47.0%	
エ	地域活動やボランティア、NPO活動に参加している市民の割合	23.8%	30.0%	基本目標4
	地域での交流や活動が活発に行われているまちだと思う市民の割合	55.5%	63.0%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業

ア 魅力的な暮らしを創造する事業

イ 快適な暮らしを実感する事業

ウ 元気な暮らしを応援する事業

エ 協働の夢づくり事業

② 事業の内容

ア 魅力的な暮らしを創造する事業

全国的に人口減少、少子高齢化が進む中、移住促進奨励金交付事業等による移住定住施策や、観光情報発信事業、大湫宿保存活用事業等による観光資源の魅力向上施策等により本市の魅力や素晴らしさを向上させ、それを知ってもらうことで、「このまちで暮らしたい。」「このまちへ移りた

い。」 「このまちで働きたい。」 と感じられるまちを目指す事業。

イ 快適な暮らしを実感する事業

このまちで新たな生活をスタートし、また、このまちに魅力を感じて移り住んだとしても、住んでいる環境など身近なところに不安や不満があると、住み続けたいまちとはならない。このまちで住み続けていくためにも、地域防災活動支援事業や防犯活動推進事業等による防災・減災対策や防犯対策等を推進していくことで、快適なこのまちで暮らし続けたい・安心できるこのまちで子どもを育てていきたいと感じられるまちを目指す事業。

ウ 元気な暮らしを応援する事業

住み慣れた地域で元気で暮らし続けられることは、高齢者をはじめ市民にとって何よりも大切なことだと考える。そのためにも、高齢者安心支え合いポイント事業やみずなみ健康 21 推進事業等の高齢者生活支援施策や疾病・介護予防施策等を通じて、高齢者をはじめ多くの市民が市民同士の交流を深め、生きがいをもって健康で元気に暮らしていけるまちを目指す事業。

エ 協働の夢づくり事業

市民の誰もが「私たちのまちを良くしたい。」という気持ちをもっている。その思いを大切に、地域のつながりや良好な人間関係により、各世代の人々が刺激を受け合いながら、まちづくり基本条例関連事業や夢づくり地域交付金事業等により夢のあるまちづくり施策を実践することで、これからも暮らし続けたいと思えるまちを目指す事業。

※ 詳細については第2期瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

400千円（2020年度～2023年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度6月に外部有識者（瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議）による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する予定。

目標の達成状況については、検証後速やかに瑞浪市公式WEBサイトで公

表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2024年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2024年3月31日まで